

2017年12月期 第3四半期累計 決算説明資料

2017年11月10日

ユニ・チャーム株式会社

代表取締役 社長執行役員

高原 豪久

本資料には、現在入手している将来に関する、見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等に関わるリスクや、不確定要因により記載の計画と大幅に異なる可能性があります。

2017年12月期 第3四半期累計 決算概要

◆資料内の表記

BC: ベビーケア事業

FC: フェミニンケア事業

HC: ヘルスケア事業

C&F: クリーン&フレッシュ事業

PC: ペットケア事業

● 連結業績(実質過去最高を更新)

- ✓ 売上高4,656億円(7.5%増収)、コア営業利益666億円(26.0%増益)
- ✓ 第3四半期累計進捗は、1-6月期以降も好調であり、年間予想に対して順調に進捗

● 日本業績(5.1%増収 19.1%増益)

- ✓ BC事業において、中国への越境ECなどの輸出が拡大し、継続的な収益性改善
- ✓ HC事業での、軽度、中度商品を中心とした付加価値商品の展開による収益性改善

● 海外業績(9.2%増収 41.3%増益)

- ✓ アジアでは、10.6%増収、50%増益、コア営業利益率10.2%まで改善
- ✓ 中国では、ECが高成長を継続
FC事業が好調に推移し中国事業を牽引
BC事業での積極的なマーケティング投資を実施し輸入品紙おむつやパンツ型紙おむつの高成長と現地品リニューアルの準備を進め7-9月はプラス成長
- ✓ インドネシアでは、収益性を更に改善しながら圧倒的な市場シェアを維持
- ✓ 北米ペットケア事業では、日本の技術を搭載した商品が好調に推移し増収増益

● 通期予想(公表値)

- ✓ 今後の環境変化等のリスクを想定し、通期予想の変更はなし

● 株主還元

- ✓ 自己株式取得 140億円 511万株取得 / 年間配当金18円実施予定(2円増配)

7.5%増収、26.0%営業増益(売上利益共に実質過去最高を更新) 計画に対し、売上高、利益ともに順調に進捗



■ 連結決算ハイライト

(百万円)

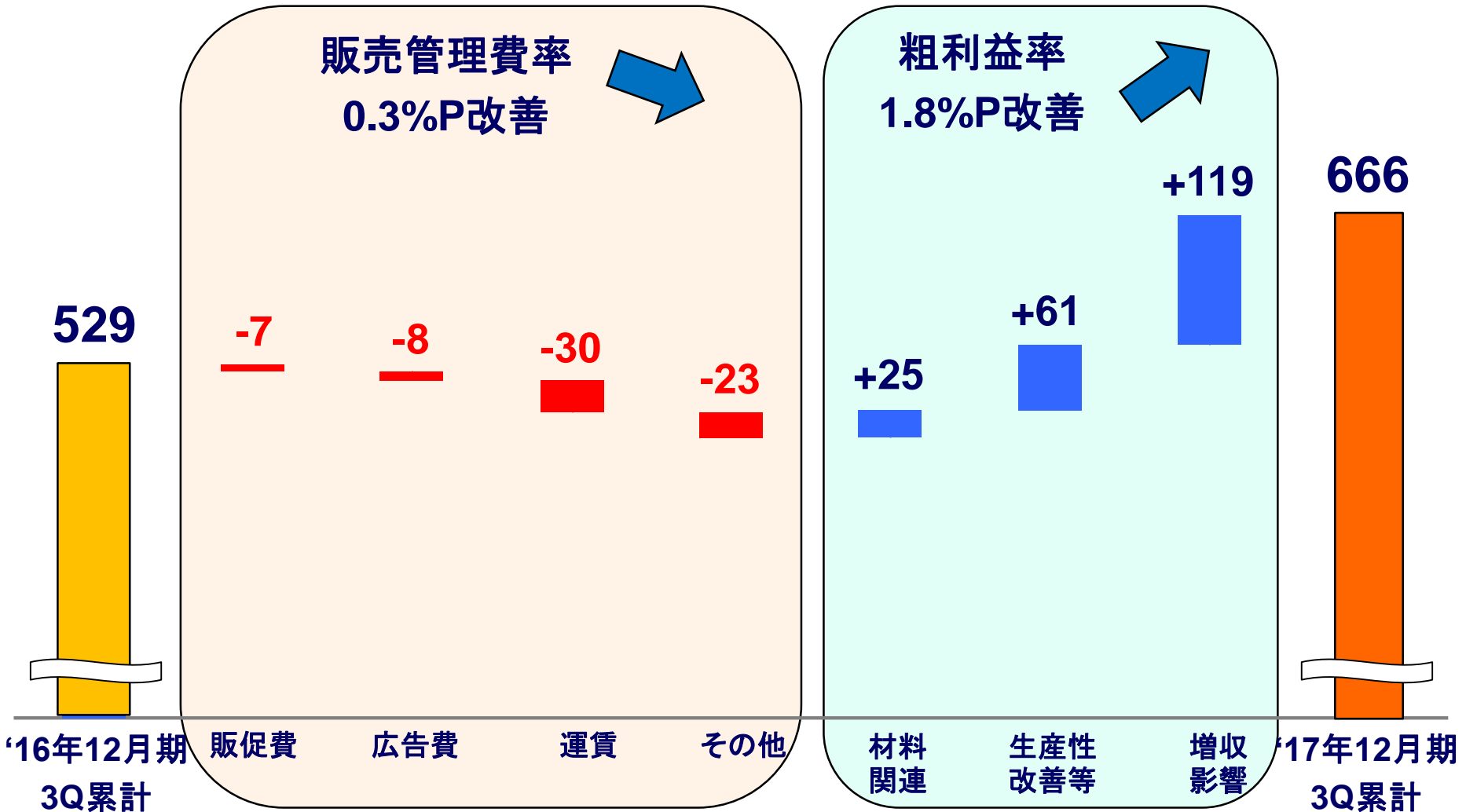
	'16/12月期 3Q累計	'17/12月期 3Q累計	増減額	増減率	(計画) '17/12月期	進捗率
売上高	433,210	465,592	+32,382	+7.5%	630,000	73.9%
コア営業利益 (利益率)	52,878 (12.2%)	66,632 (14.3%)	+13,754	+26.0% (+2.1%P)	84,000 (13.3%)	79.3%
税引前四半期利益 (利益率)	48,625 (11.2%)	66,966 (14.4%)	+18,341	+37.7% (+3.2%P)	77,000 (12.2%)	87.0%
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (利益率)	32,390 (7.5%)	43,622 (9.4%)	11,232	+34.7% (+1.9%P)	49,000 (7.8%)	89.0%
基本的1株当たり四半期利益(円)	54.43	74.21	+19.78	+36.3%	—	—
USDレート(円)	108.69	111.92	+3.23	+3.0%	110.00	—
中国元レート(円)	16.50	16.47	-0.03	-0.2%	16.30	—

※ '17年度よりIFRSを適用。'16/12月期3Q累計はIFRSに基づき算定。

積極的なマーケティング投資の効果により、売上数量増、 原材料価格変動の好影響等もあり137億円増益

■ コア営業利益増減

(億円)



日本では、BC事業、HC事業、PC事業が業績を牽引
アジアでは、中国、インドネシアを中心に収益性が大きく改善



■ 所在地別セグメント情報

(百万円)

		'16/12月期 3Q累計	※1 '17/12月期 3Q累計	増減額	増減率	(参考)※1 実質 増減率
日本	売上高	180,540	189,798	+9,258	+5.1%	—
	コア営業利益	35,328	42,072	+6,744	+19.1%	—
	(利益率)	(19.6%)	(22.2%)		(+2.6%P)	—
アジア	売上高	182,131	201,417	+19,285	+10.6%	+7.7%
	コア営業利益	13,639	20,463	+6,824	+50.0%	+46.0%
	(利益率)	(7.5%)	(10.2%)		(+2.7%P)	—
その他※2	売上高	70,539	74,377	+3,838	+5.4%	+5.2%
	コア営業利益	3,553	3,831	+277	+7.8%	+2.4%
	(利益率)	(5.0%)	(5.2%)		(+0.2%P)	—
調整額等	売上高	—	—	—	—	—
	コア営業利益	357	266	-91	—	—
	(利益率)	—	—		—	—
連結	売上高	433,210	465,592	+32,382	+7.5%	+6.2%
	コア営業利益	52,878	66,632	+13,754	+26.0%	+24.8%
	(利益率)	(12.2%)	(14.3%)		(+2.1%P)	—

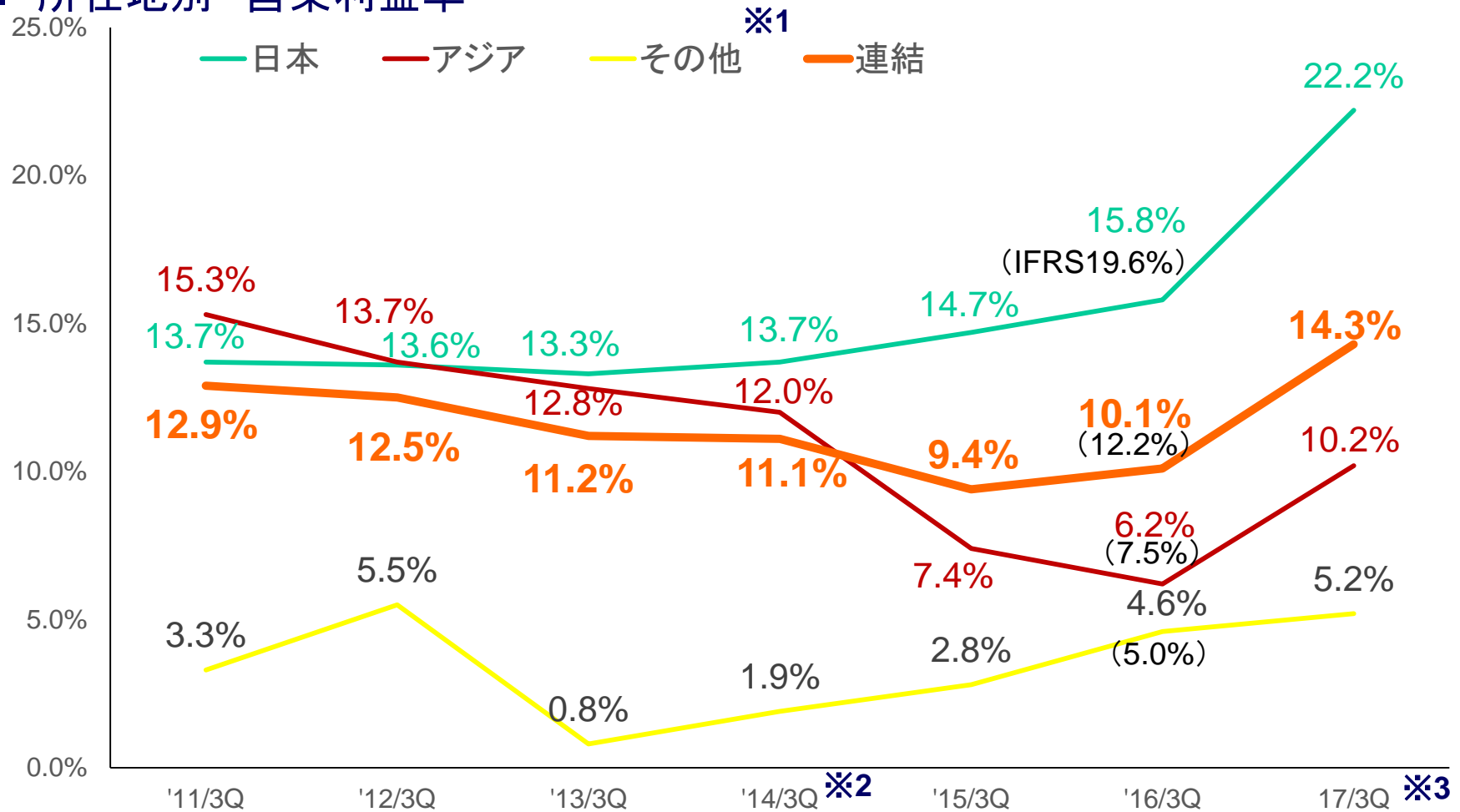
※1: '17年度よりIFRSを適用。実質増減率は為替変動を除く増減率。'16/12月期3Q累計はIFRSに基づき算定。

※2: その他の主な地域は、米国、サウジアラビア、ブラジル、オランダ。

日本では、輸出の拡大、高付加価値化の推進による改善 アジアでは、主要国である中国、インドネシア、インドでの改善



■ 所在地別 営業利益率



※1: その他の主な地域は、米国、サウジアラビア、ブラジル、オランダ。

※2: 決算期変更により変則的な決算となっております。

※3: '17 /3Qは、IFRSベースのコア営業利益率。

ペットケア事業は 国内では、高付加価値化による単価UPで収益性改善 北米でも、高付加価値商品へのシフトが進み収益性改善

■ 事業別セグメント情報

(百万円)

		'16/12月期 3Q累計	※1 '17/12月期 3Q累計	増減額	増減率
パーソナルケア	売上高	374,900	403,877	+28,977	+7.7%
	コア営業利益	47,937	60,037	+12,100	+25.2%
	(利益率)	(12.8%)	(14.9%)		(+2.1%P)
ペットケア	売上高	53,907	57,048	+3,141	+5.8%
	コア営業利益	4,668	6,681	+2,013	+43.1%
	(利益率)	(8.7%)	(11.7%)		(+3.0%P)
※2 その他	売上高	4,428	4,689	+261	+5.9%
	コア営業利益	273	-86	-359	—
	(利益率)	(6.2%)	—		—
調整額等	売上高	-25	-21	+4	—
	コア営業利益	—	0	0	—
	(利益率)	—	—		—
連結	売上高	433,210	465,592	+32,382	7.5%
	コア営業利益	52,878	66,632	+13,754	26.0%
	(利益率)	(12.2%)	(14.3%)		(+2.1%P)

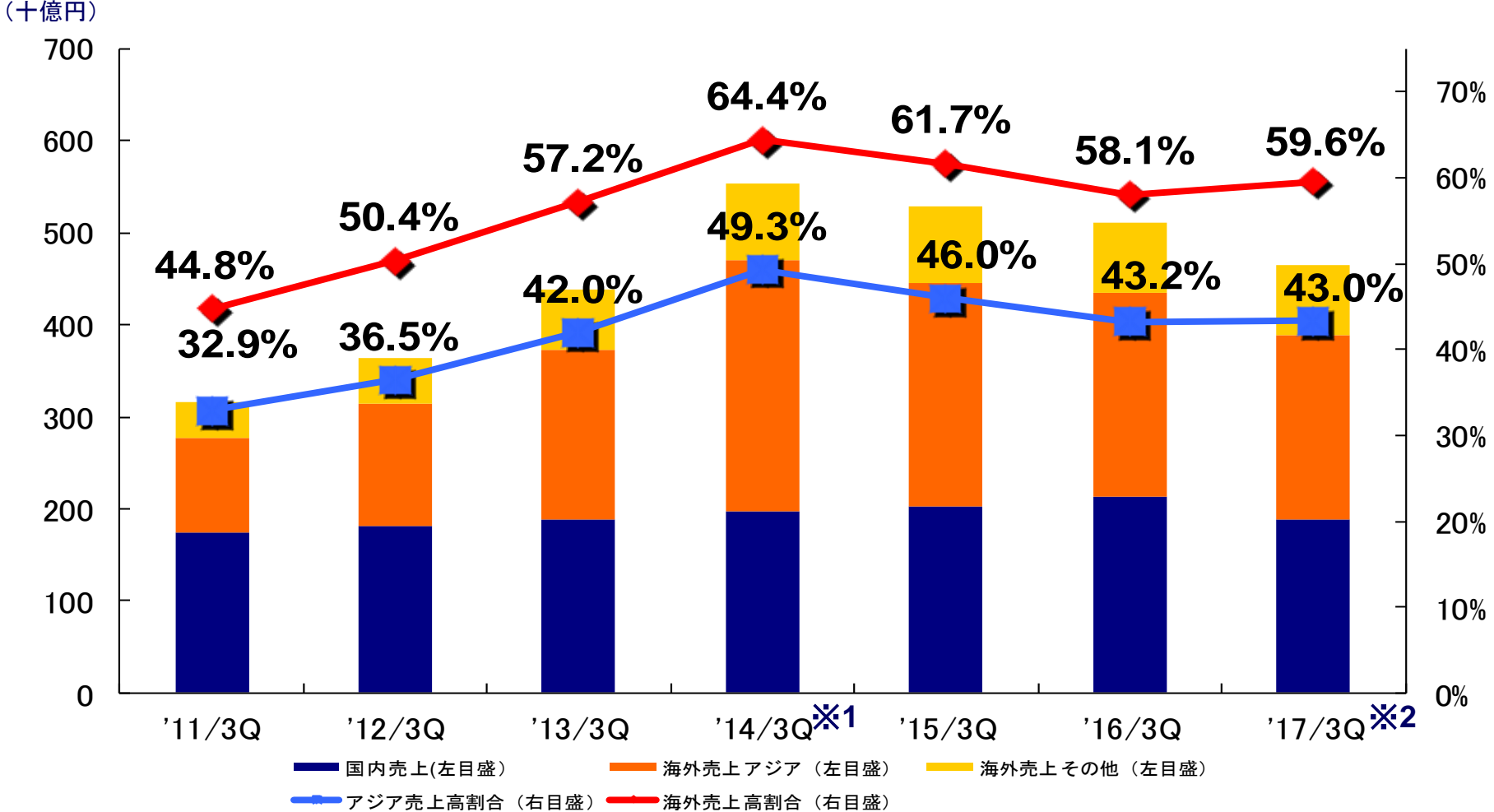
※1: '17年度よりIFRSを適用。'16/12月期3Q累計はIFRSに基づき算定。

※2: その他は産業用資材関連商品等。

海外売上高構成比は59.6% (為替影響を除くと59.1%)



国内・海外売上高推移



※1: '14/3Qは決算期変更により変則的な決算となっております。

※2: '17年度よりIFRSを適用。

為替変動の影響は 売上高 約55億円増、コア営業利益 約7億円増

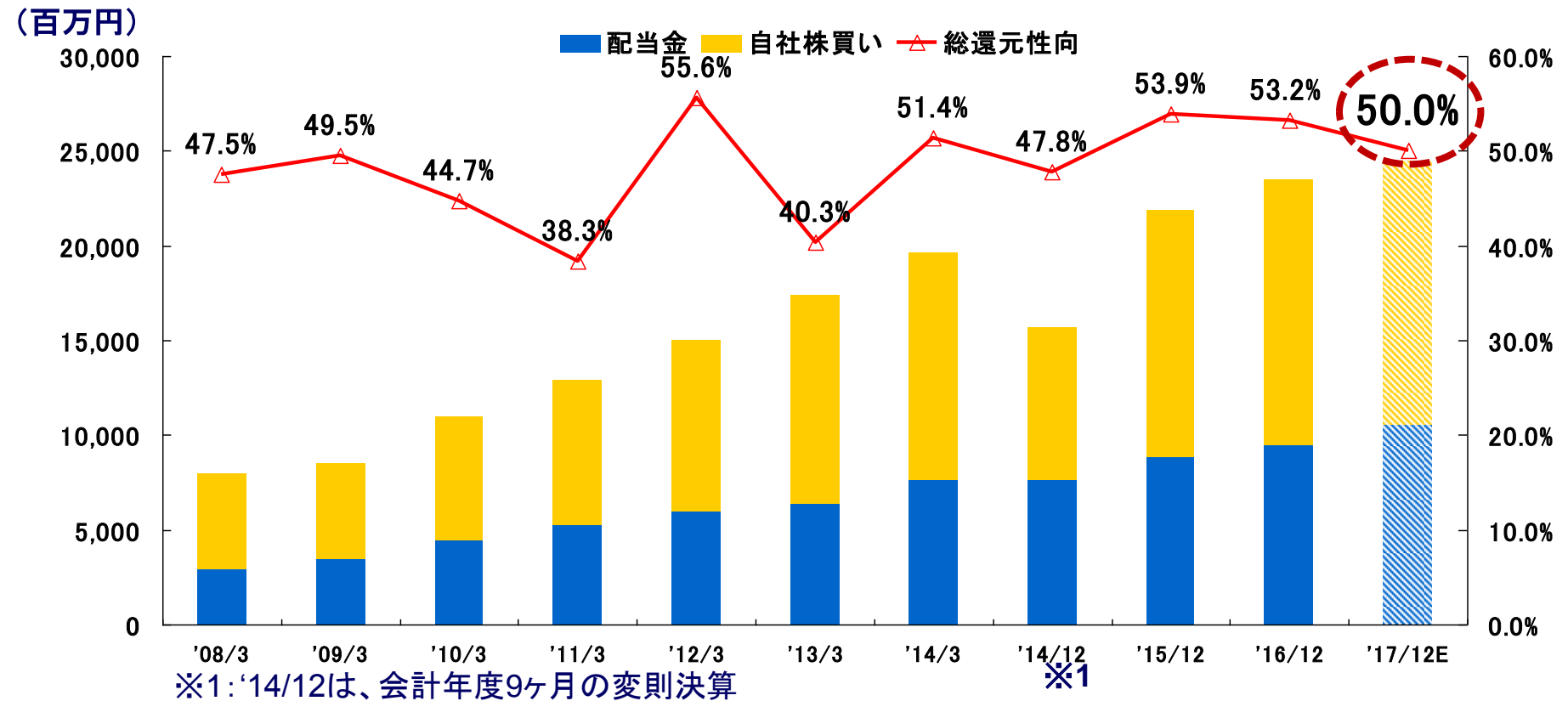
■ 通貨別変動推移

通貨	'16/12期3Q累計レート	'17/12期3Q累計レート	増減率
中国(CNY)	16.50	16.47	-0.2%
インドネシア(IDR)	0.0082	0.0084	+2.4%
タイ(THB)	3.08	3.27	+6.2%
サウジアラビア(SAR)	29.03	29.89	+3.0%
インド(INR)	1.63	1.73	+6.1%
ベトナム(VND)	0.0049	0.0049	±0.0%
米国(USD)	108.69	111.92	+3.0%
台湾(TWD)	3.35	3.67	+9.6%
オランダ(EUR)	121.17	124.55	+2.8%
韓国(KRW)	0.0936	0.0985	+5.2%
オーストラリア(AUD)	80.46	85.73	+6.5%
マレーシア(MYR)	26.60	25.76	-3.2%
エジプト(EGP)	12.69	6.27	-50.6%
ブラジル(BRL)	30.66	35.29	+15.1%
ロシア(RUB)	1.59	1.92	+20.8%

株主還元政策

業績に連動した配当と自己株式の取得により 2017年度も増配を継続、総還元性向50%を予定

■ 株主還元政策

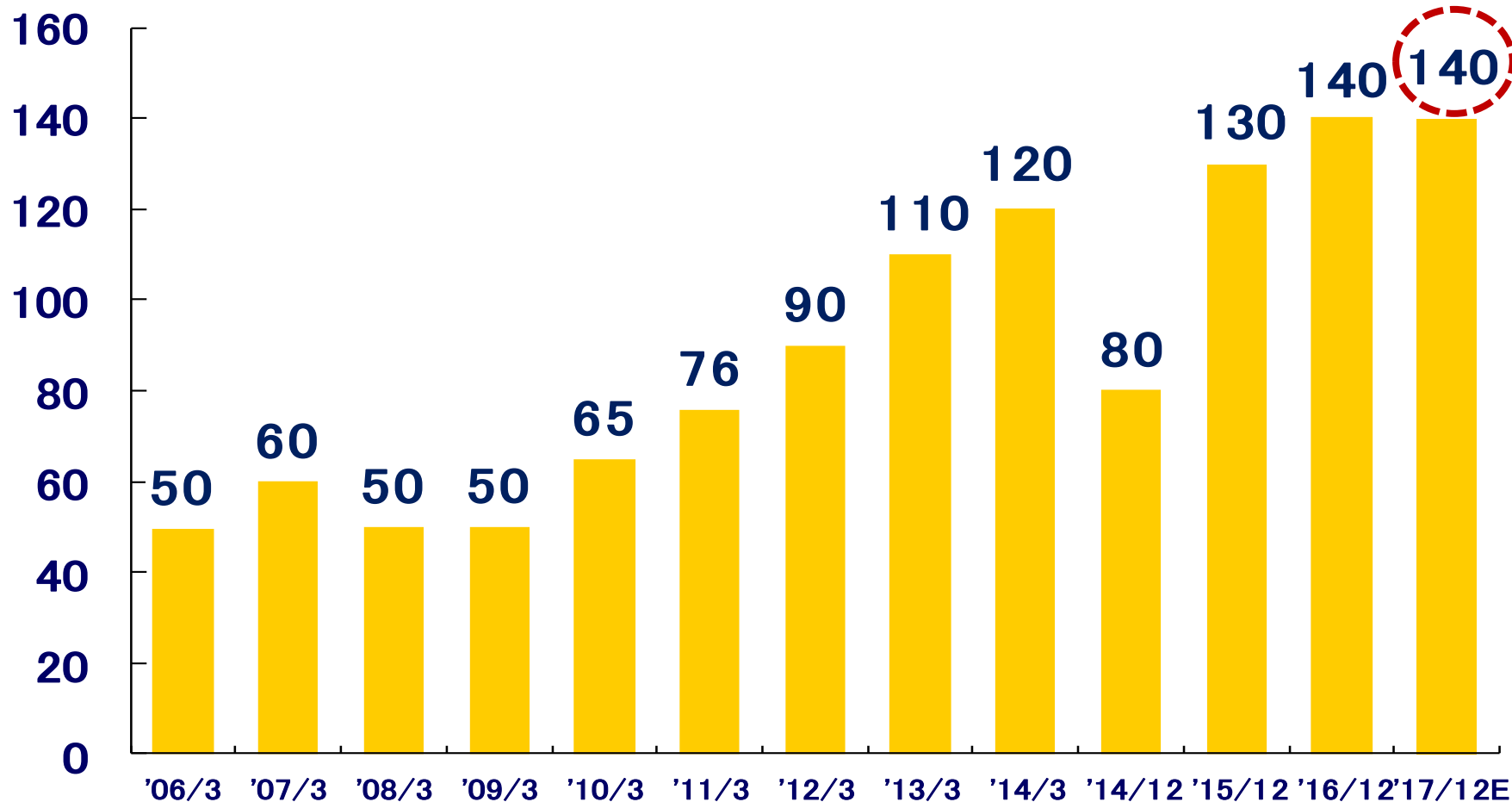


継続的な成長を実現するための事業投資を優先しつつ、中長期的な連結業績の成長に基づき、安定的かつ継続的な配当を実施し、自己株式の取得に関しても必要に応じて機動的に行うことで、株主配当と自己株式取得と合わせて**総還元性向50%を目標**(配当性向20%目処)に利益還元を図っております。

キャッシュの状況に応じて機動的に自己株式を取得 既に140億円、511万株を取得

■ 自己株式取得の推移

(億円)



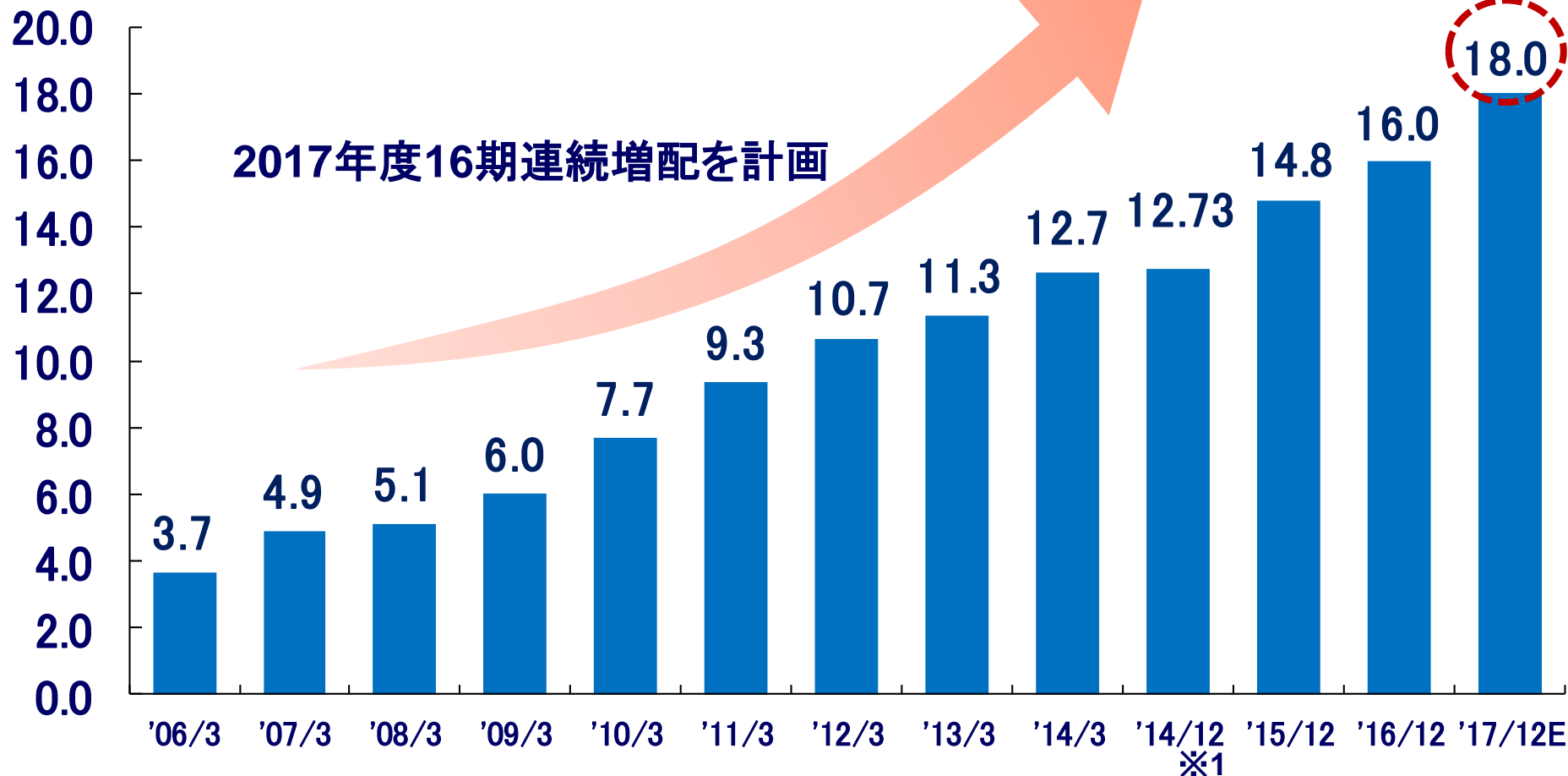
※1: '14/12は、会計年度9ヶ月の変則決算

※1

安定的かつ継続的な増配を実施 16期連続増配を計画

■ 1株当たり配当金の推移

(円)



※1: '14/12は、会計年度9ヶ月の変則決算



ユニ・チャームは
全ての人々が自立と相互扶助によって
輝き続けられる“共生社会”の
実現に寄与するために、
快適と感動と喜びを与えるような
世界初、世界No.1の商品と
サービスを提供しつづけます。